



埼玉県舞踊協会 NO.25

埼玉県舞踊協会ニュース

Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会
発行者：津田 郁子
埼玉県さいたま市浦和区東仲町 1-16 鳥昇ビル 3F
TEL:048-882-7530 FAX:048-882-7549

彩の国ダンス・セッション2008

彩の国さいたま芸術劇場 2008年3月1日(土)・2日(日)

2008年3月1日(土)
●前夜祭公演
小ホール 19:00 開演
「牧神の午後を踊る」
●プレ公演
情報プラザ 17:30 開演
「コレオグラファーの目」

2008年3月2日(日)
●本公演
大ホール 17:30 開演
「回想・随風」「パキータ」「向往神鷹」
「Tabula rasa - 限りなき永遠 -」
●スペシャル講習会
小ホール (A, B) 10:00 開講 12:00 開講
大練習場 (C, D) 10:00 開講 12:00 開講
●ダンス&トーク
小ホール 15:30 開講
●舞踊学会第11回定例研究会
修論・博論発表会
映像ホール 10:00 開会
デモンストレーション・大学競演ショーケース
情報プラザ 13:00 開演
「ダンスサーが教壇に立つとき」
映像ホール 14:00 開会



撮影：木上晃実 [スタッフ・テス様]

「ダンスセッション2008」は大成功でした

埼玉県舞踊協会会長 津田郁子

前年度の合同公演「呼吸」では詩人の池下和彦先生をゲストに、コンクールの優勝者披露と、県下の舞踊団が競演し、成果を上げました。これを踏まえて、今年度は、大きな新企画を立ちあげました。さいたま芸術劇場という恵まれた会場を、総合的に使用した「ダンスセッション2008」です。

埼玉県芸術文化振興財団と共催し、舞踊学会例会を誘致し、中国から現代舞踊団を招聘すると共に、講演、講習会、研究会、自由作品展発表会と、多面的に舞踊と接する、大掛かりな企画でした。

3月1日は、情報プラザを会場とした若手の自由参加による「コレオグラファーの目」※1、引き続き小劇場においては、研究の実験劇場「牧神の午後を踊る」が開かれました。これは、5人の振付師・新野正代※2・松崎えり※3・時田ひとし※4・手島かつこ※5・大岩淑子※6さん等の個性あふれる創作によるデュオの同一曲に振付したものと、牧神の午後についての新旧の映像を交えた鈴木勲教授※7の学術講演でした。



※1

3月2日は、10時から小ホール、大練習場を使用したバレエ、モダン、コンテンポラリーのスペシャル講習会、クリスティアン・マルティン



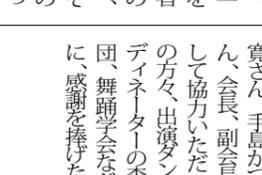
※2



※3



※4



※5



※6

※7

ダンスセッション2008 舞踊の根々舞台に立つ身体を求めて

総合プロデュース 若松美貴

①企画
埼玉県舞踊協会は、バレエ、現代舞踊分野の融合した組織で、その活動は、両分野での共通した問題意識がなくてはならない。時には、バレエ作品に現代舞踊家達が出演したり、現代舞踊にバレエダンサーが出演したり、両分野の合同公演であったり、児童作品に共同制作したり、色々な企画が行われてきた。ダンスセッション2008は、諸外国のダンスフェスティバルに匹敵するものを、さいたま芸術劇場で実施できないかという懸念に答えるものであった。

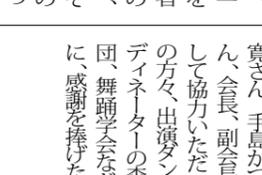
実技講習会、ワークショップ、公演、研究会、学会、トークショーなどが同一会場、一日中、行われる企画は、確かに、日本では少ない。会場の施設から手権の組織、財源をが関連するの



※3



※4



※5



※6

※7

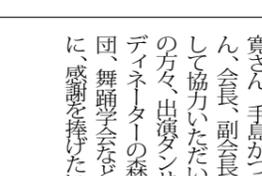
②ダンスセッション2008

本公演では、中国より北京雷動天下現代舞踊団を招聘し、蒙古舞の民族舞踊と、劉雲鋒さんの新作「回想・随風」の2作品を上演してもらった。滑らかな身体表現と高度な技術は、特に民族舞踊に現れた。

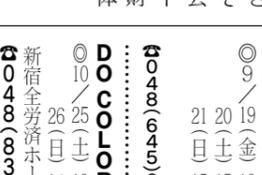
具体的には、従来の国際交流の蓄積による公演すなわち、国際コンクールなどで築いたノウハウを生かした外国招聘作品と、埼玉県舞踊協会のバレエ部門、現代舞踊部門の作品を構成するもので、国際的な成果を本公演と、そこにいたる実験劇場、ワークショップ、研究会、実技指導などで



※4



※5



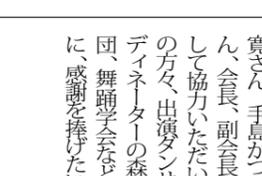
※6

※7

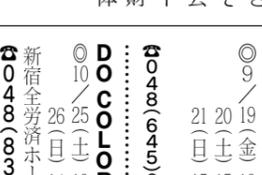
③ダンスセッション2008

ともあれ、研究と実演は高輪で、諸外国ではあたりまえのことだが、日本では難しい。今回は、他に、舞踊学会例会を招致した。ここでは、立教大学心理学部の教授でもある勅使川原二郎氏のワークショップ、鼎談「ダンスサーが教壇に立つ時」などが行われた。学会の協力は、活気を呼び込んだ。6つの大学のダンス・ショーケース出演者を越す賑やかなイベントともな

た。ダンサーの疑問などを公開したダンス&トークは、佐多達枝さん、大岩静江さん、高野尚美さんの経験ある指導者がダンサーと対話するもので、普通の観客には見ること出来な



※5



※6

※7

わが協会控え室に見えられ、舞踊学会などの招聘、情報プラザでの盛り上がり、各種の企画公演などに大変喜び、藤井公名名誉会長を含め、其処に居合わせ理事らに謝辞を述べられました。また舞踊関係のディレクター佐藤まゆみさんなどは、学会を含む、ほとんどの出演者、スタッフ、お手伝いくださった協会の方々の力を頂き、このような大きな企画が推進できたことは、大変喜ばしく誇りに思いました。

ヨークで踊った牧神の午後、50年代末に初来日したニューヨーク・シティバレエでは、ロビンス振付の種馬のダンサーのデュオが素晴らしい。東京のMDEでは、カナダのマリ・シユイナルの牧神を一度ほど取り上げた。女性が角をヘニスにしたてて踊る牧神は、やはり迫力があって、70年代には、ロンドンでは、ラバナーティン・ジョンソンがバレエダンサーが共同して作品を復活したのも話題だったが、私的には、評価できず、ニジンスキーを越えたものとは思えなかった記憶もある。

鈴木勲教授の講演は、映像を巧みに使い、一般の人に興味深いものになった。小ホールなのに、舞台は、思いのほか変化に富んでいた。まず、ひな祭りを女性群舞で華やかに表現した新野正代さんの作品に驚き、強い女性を演じた美しいデュエットの松崎えりさんと和み、制限された身体表現に情念を語った時田ひとしさんと若者像を見、朝鮮舞踊をベースにチャングを打ち鳴らし、仮面劇を展開した手島かつこさんと李美南さんに民族の脈を感じ、そして最後は、アフリカ民族音楽をバックにベトナムの巨大ベッドを思わせる女性を描いた大岩淑子さんの高度な身体に感心するほど、見所満ちた。見所満ちた。

- 協会員催し物のご案内
2008年4月10日
- 山中有子モダンバレエスタジオ発表会 4/26(土) 16:00
 - 文京学院大学 仁愛ホール 048(542)1377 山中有子
 - 津田若松モダンバレエ研究所 第54回生徒発表会 4/27(日) 12:30 埼玉会館大ホール 048(853)9410 津田郁子
 - 25周年記念マリエ&TK合同バレエ公演 4/29(火) 16:00 川口総合文化センターリリアメインホール 048(226)1535 矢島麻津絵
 - アミッド・バレエ・スタジオ発表会 4/29(火) 祝 板橋区立文化会館大ホール 03(346)96782 峯 美保
 - 第25回大岩静江バレエスタジオ発表会 5/11(日) 川口総合文化センターリリアメインホール 048(288)9587 大岩静江
 - 菅田清子バレエスタジオ第18回発表会 6/1(日) 16:00開演予定 川越市民会館大ホール 049(224)8420 菅田清子
 - 中村友美・上田仁美モダンバレエ 開設40周年記念 第35回発表会 6/22(日) 13:00 春日部市民文化会館大ホール 048(734)5004 中村友美
 - 第8回伊藤京子バレエスタジオ定期発表会 7/6(日) 17:00 埼玉会館大ホール 049(233)6244 伊藤京子
 - 第13回由井カナコバレエ研究所 フカヤバレエ教室発表会 7/21(月)祝 熊谷文化創造館さくらめいと太陽のホール 03(372)7746 由井カナコ
 - フジサトバレエスタジオ 50周年記念&第50回発表会 7/26(土) 15:00 練馬文化センター大ホール 03(399)52218 藤原照子
 - マンナバレエスタジオ発表会 8/17(日) 16:30 北とびあ(さくらホール) 03(390)9830 マンナバレエ
 - 文月玲バレエスタジオパフォーマンス①「カルメン」 9/7(日) 18:00 熊谷文化創造館さくらめいと太陽のホール 048(524)6582 文月 玲
 - アキコカンダモダンダンス公演 9/19(金) 19:00 20(土) 15:00, 19:00 青山山形劇場(有料) 048(645)6551 アキコカンダ事務所
 - DOCOLORSYELLOW 10/25(土) 19:30 新宿全労済ホール(スペース・ゼロ) 048(837)2507 市川華代



中国の現代舞踊

手島かつこ

曹誠淵芸術監督の北京雷動天下現代舞踊団の五人のメンバーが、作品「回憶・随風」で中国の現代舞踊を披露した。この舞踊団は、団員たちが自由に創作して公演できるシステムなので、中国では多くのファンを持つ。今回来日したメンバーは、北京に戻ると次は、全団員と合流し、3月6日からドイツ、3月27日からはアメリカへと公演を続ける。埼玉国際創作コンクールで大賞をとり、翌年日本の文化

庁の海外舞踊研修生となつて一年現代舞踊を学んだ劉焱鋒は、日本の先生方、友人たちに感謝をこめて、今回の作品を創った。初めての試みである「ダンスセッション」の企画、担当者は、歴史からくる文化の違い、風習の違いに戸惑うことが多く、ビザの取得のための書類のやりとりだけでも本番間近までかかった。然しその中でも、日本に在住している舞踊家、顔安

氏の多大なご協力により、中国の現代舞踊を日本に紹介することができた。国際交流は簡単ではない。多くの人たちの情熱と努力によって実現するものだと思ふ。上昇気流に乗っている若い舞踊家劉焱鋒は、埼玉県舞踊協会の公演成功に向けてご尽力くださったみなさまのお陰で、今、日本と中国の舞踊交流に、新たな一本の線をつなぐことができたように思ふ。



パキータ

佐藤良寛

ダンスセッションに御協力頂いた協会の理事の先生方、参加して下さいました各先生方にこの場をお借りして感謝しお礼申し上げます。

パキータと言う作品はメジャーでありながら、メジャーでない作品です。基本レベルの差を乗り越え、2拍子3拍子などの音楽に対するステップの違いを考へてみようと提案し、個々の踊り手がその意味に向って双方コミュニケーションを取り、踊り手が自信を持って舞台にのぞんだと思えます。

マズルカ(バガリャ)の子供達もリハサルを重なる度に自信を付けていく人、人に引っぱられて上達していく人、踊る事の喜びを作る事が出来たと思えます。これからが楽しみです。

主役、ソリスト、コールド、当然の事ですが演出側としてはダンサー



と観客、観て下さる方に楽しんでもらえる様、コールドのパワーを上げる事、そろえる事、各スタジオで習ったバレエの意、カラーを失う事なく踊る意味、パの動きの意味、大切さを一緒に考え学ぶ、とても良い機会でした。たぐさんのお客様に観て頂き、(補助席まで出し)舞台を踏めた事に感謝しております。

ダンスセッション2008を終えて

上田仁美

先日のダンスセッション2008では、先主方、お疲れ様でした。この度、本公演に作品発表という大変ありがたい機会を頂きまして、協会の先生方には深く御礼申し上げます。また本番1週間前からほぼ毎日、舞台でのリハサル、先生方からもご指導賜りまして、恵まれた環境の中で、勉強させて頂けましたことに、感謝の気持ちでいっぱいでございます。



以前から、この劇場の奥行きのある舞台が、とても面白く空間だと思つていました。今回、作品発表のお話しを頂いた時、奥行きを強調した作品を創りたいと思ひ、発想しました。ある時点から、私の中で、ある一つのテーマを、メッセージとして発信し続けたいと思つようになりまして。そして現在、同じテーマを表現方法を変えて追求していくことを自分の中で試みてい

ます。今回発表した「Tabula Rasa」限りなき永遠」は、そのシリーズの4作目です。舞台を終えて色々な気があり、自分の勉強不足を痛感していますが、今回の貴重な体験を糧として、今後は少しずつ大きな作品を創れるよう課題を追求していきたいと思つております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。どうもありがとうございました。

ダンスセッション2008を終えて

担当理事 窪内絹子

何とか無事に二日間のダンスセッションを終えることが出来ました。協会の先生方には多彩なプログラムという事も有り、連日の御協力に大変感謝致して居ります。一年半かけての準備がはじまってしまえばあるという間に終わってしまったかと思える暇なく、又次のプログラムに突進して行かなくてはならないという状況を迎え、それでも終えられた事にホッとしている所です。今回の企画では今までの様にガムシャラにテクニクの稽古をして

舞踊家を目指すというパターンの若者は少なく、とにかくダンスをとても楽しんでる若者が多かった様に思います。今はバレエの時代でモダンダンスは低迷しているといわれていたが、こんなにフリーでダンスを楽しんでいる若者がいるという事には驚きました。彼等にとつては、自分を主張する場がダンスであつて、どこでも踊つてみるという形式が好まれてる様に感じました。舞台で改めてダンスを観てもらうという考え方はないので、公演の企画を立てても参加者が少なくなつてきているのも納得です。企画者も劇場を借りて作品を出してもらい一つの公演にするという形も考え直す必要が有る様に思いまし



た。そして、バレエのレッスンもモダンのレッスンも受けてみたいと思つている人達が多く、講習会の時間組みが重ねた事によりどちらかしか受けられないという結果が出た事は残念な事だと思ひました。もっと若い人達が企画から参加しそれを何かの形でサポートしたりアドバイスをしていく

る様な協会のシステムを作りあげていかないと、なかなか若い人達が進んで参加するということにはならないと思ひました。一つの企画が終わつても課題が山積みで公演だった様に思ひます。残る課題は収支決算です。どうなることやら！次の公演はどの位若い人達が参加してくれるのでしよう。期待を込めて!!

皆様本当にいろいろ有難うございました。最後にこの企画を総合プロデュースして下さいました若松先生には深く感謝致します。

第41回 バレエ・モダンダンス フェスティバル

川口リリアメインホール



Aプロ 3月8日(土)

Bプロ 3月9日(日)

撮影/木上晃実 [スタッフ・テス株]

第41回バレエ・モダンダンス フェスティバル公演を無事終えて!

担当理事 板沢寿美

3月8・9日、第41回バレエ・モダンダンスフェスティバルが開催されました。Aプロ9団体、Bプロ10団体、600人余りの参加でいつもより少し少なめでしたが、年々各団体のグレードUPを感じております。これからも益々皆様に親しまれ、且つ有意義になる手助けが出来ます様に、今回参加の先生方及び出演者の方々にアンケートをお願い致しました。お答え戴いたご意見、ご要望を要約させていただきます。

・40年以上もの長い間続いているこのフェスティバルはとても意味のある会だと思ふ。協会の歴史の催事の1つとして後世に残すべきだと思ふ。

・コンクール入賞披露は好評。全ての子供達がコンクールを目指すわけではないが、少なくとも舞踊に対する父母の理解が深まる機会となり出演者にも夢が持てると思ふ。

・今回は2週間続いているイベントがあり、どちらも協会主催なのだから公演日日のバランスは第1義的に考えなければ、結果、相互の運営が行き詰まりかねない危惧さえ感じる。

・今回は参加団体が少なく少し寂しかったが、丁度な適正数だった様な気がする。ゲネ、本番、楽屋等いつもより余裕が持てあ

りがたかった。

・これくらいの団体数なら最後に全員で簡単な踊りが出来たら楽しいだろうなと思つた。

・リノリウムがすべりやすいので考えてほしい。

・プログラムは1部500円にしても良いのではないか。

・今回初めての参加、子供達はいろいろな踊りが観れてとても楽しかったようにですが、指導者は緊張しました。ファイナルは全スタジオが乗っているのにとってもスムーズに運び、勉強になった。

・今回吊り物を持ち込みましたがスタッフの方々が快くお手伝いして下さいました。

・まだまだ風邪も流行つており各団体の先生方も大変だったと思ひますが、本当にお疲れ様でした!!

「いつも楽しく参加させて頂いていますが、今回も参加出来て良かったです。」

「今回もお言葉に有難く疲れも癒され、これからも皆様のご要望を少しでも叶えられる様努力してゆきたいと感じました。」

「今回も参加出来て良かったです。」

「今回もお言葉に有難く疲れも癒され、これからも皆様のご要望を少しでも叶えられる様努力してゆきたいと感じました。」

埼玉県芸術文化祭 2008 参加 第41回 埼玉全国舞踊コンクール 2008 (会場) さいたま市文化センター 大ホール・小ホール (入場無料) (日時) 2008年7月23日(水)~30日(水) (主催) 埼玉県舞踊協会 《共催》(財)さいたま市文化振興事業団

Table with 3 columns: 期日, 大ホール, 小ホール. Rows include dates from 7/23 to 7/30 and event details like クラシック2部 予選, モダン1部 予選, etc.

ホームページからのみ受付いたします [埼玉県舞踊協会ホームページ] http://www.saitamaken-buyoukyokai.jp

エッセイ...

佐多達枝

私は若い時、老大家のエッセイ等が嫌いだ。自然の、庭の、一寸した草花だとか季節のことだとか。愛でる、拾う、すくい取る—それが若い私には嫌だった。今の中高生の言葉の「うざい」と云う感覚だったのかも知れない。若い時年をとってからのこと—一応は想像していた。五十年代六十代七十代親をみていて想像出来たつもりでいた。廻りがみえて物事わかって穏やかでいられるものだと思つていた。私だけだろうか、やはり人それぞれなんだろうとは思っただけで今の私は、ね—なんで?、どうにかして、助けてと不安感が一杯と云うか押し寄せてくる。勿論若い時不安がなかったわけではない、でも遠慮会釈なくと云うか傲慢なかなり振り構わず突っ走ることで不安を知らん顔して押しやっていた。

一寸横道ですが振付したい作品創りたいと云う人からどうやったらと聞かれるのですが、創りたいと云う気持ちがあるならとも角、やってみることを勧めるのですが創ろうと思つた時は生意気でいいんだと思ひます。自分の中で「私は何様なんだぞ」と思わないと一歩踏み出せない。だからなるだけ若い内に始めた方がいい様に思う。

今の私は何と云うのだらしないことか、私の性格は気が小っちゃいくせに負けん気だと思つたのですが年をとってその負けん気が弱まり、気の小さい故に不安が倍増と云う何とも始末に負えない有様、そしてこんな風に書いて来た様に愚痴っぽくなり……。読んでる人に申し訳ありません。年をとって来た話のついでに未だあるのです。作品創るのをやる時は何日か、聞こえて来ます。「あなたの勝手ですよ、やりたくないければやめればいい」そうなんです、頼まれて創ってるわけではなく自分でリサイクルもってやってるので、その分気は楽です。若い時、死ぬ迄創り続けると思つていました。でもそれも気力体力があればの話、観て貰うにふさわしい作品が創れればの話。恥を多少なりとも知ると云うことは辛いですね。でも永いこと恥を恐れず創り続けてこれたことに感謝したいと思ひます。助けてくれた多くの方たちに感謝しないとバチが当たりそう。ありがとうございました。

●編集後記

役員改選の年がきました。時代の移り変わり、多くの協会の皆様のご意見を聞き入れて、協会を運営していただくたいと感じています。皆様どうぞ協会の仕事に興味を持って接していただきたいと思います。協力よろしくお願ひします。 広報部 山本教子

●舞踊協会からのお知らせ

①埼玉県舞踊協会2008年総会 6月29日(日) 詳しくは後日、別紙にてお知らせいたします。

●協会員報告

おめでとうございます。 矢野美智子理事 熊谷市文化功労賞 小林和加枝氏 埼玉県文化功労賞 若松美貴理事 第25回江口隆哉賞 受賞のお祝い申し上げます。